

相馬  
ゆうこの

# 南千住レポート



まちづくり、  
くらしの情報  
を届けます



区議団控え室 荒川区荒川2-2-3区役所内5階 ☎:3802-4627  
FAX: 3806-9246 / ✉:arajcp@tcn-catv.ne.jp  
相馬ゆうこ事務所 荒川区南千住5-1-6・2階  
☎・FAX:3807-4192

・HP→  
・Twitter @m1010\_yuko  
・araken-nan.jugem.jp



## コロナワクチン 来年度から高齢者の定期接種に

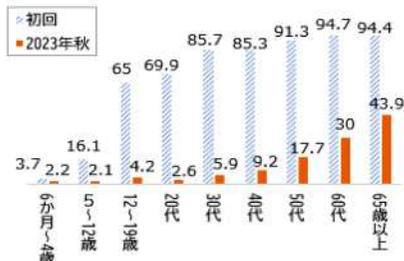
来年度以降の新型コロナワクチン接種について、インフルエンザと同様に年1回の「定期接種（B類）」として、対象を「65歳以上の方」と「60～64歳の基礎疾患等がある方」に、64歳以下の方は任意接種で対象外とする方針が、11月22日(水)の厚労省専門部会です承されました。



**実費では** 現状、ワクチンはファイザー、モデルナ **1.9万円負担!?** の売り手市場で1回130ドル（約1.9万円）と報道され、接種を実施する区の独自補助がどこまでできるか問題です。高すぎる個人負担では、「定期接種」になったとしても受ける人がいなくなり、新たな感染拡大になりかねません。国産ワクチンの使用もすすんでいます。接種費用を抑えるために国・東京都の支援の検討が求められます。

64歳以下	65歳以上
任意接種	定期接種
全員が実費負担	高齢者など 区が独自補助
年一回・希望者のみ	

**接種率は大幅減少** 区内のワクチン接種率（11/27時点）は、肺炎など重症事例の減少・5類移行も影響し、65歳以上で約4割など各年代で減少。一方で、基礎疾患があるなどまだ不安に思う方もいます。



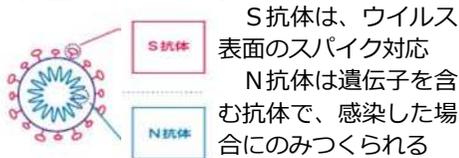
今年7～8月の厚労省の調査（関西・中国・四国）では95.4%が「S抗体」を保有。感染した場合のみつ

くられる「N抗体」は45.3%で約5割に（右）。N抗体は「5～9歳」が73.8%で最大です。高齢者は20%台と低く、主にワクチン接種によって免疫を得ているのが現状でしょうか。



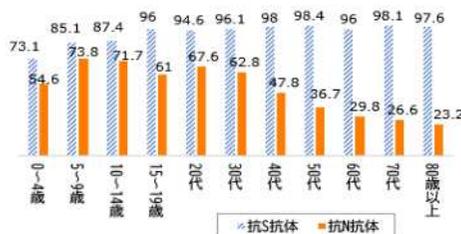
**国・都・区の支援検討を** 70歳以上の約7割、全体の4割が定期接種を希望しており、今後の変異種も想定され、国・自治体の接種への支援が必要です。副作用など健康被害や後遺症への支援拡充も引き続きもめたい。

### 新型コロナの抗体は2種類



- ・感染…「N抗体」「S抗体」両方
- ・ワクチン接種…「S抗体」のみ

【抗体保有率】



# 読書の秋～図書館の貸出数ランキング



「読書の秋」もあつという間で冬本番の寒さですが、みなさんは最近本を読まれたでしょうか。

区立図書館の今秋（9～11月）の貸出数ランキングは、1位は池井戸潤さんの「ハヤブサ消防団」・市川沙央さんの「ハンチバック」が101回で同数に。

貸出数ランキング（9/1～11/30）

				蔵書数	予約数
101回	ハヤブサ消防団	池井戸潤	2022年9月	21	0
101回	ハンチバック	市川沙央	2023年6月	17	129
99回	月の立つ林で	青山美智子	2022年11月	18	0
91回	川のほとりに立つ者は	寺地はるな	2022年10月	17	0
91回	教誨	袖月裕子	2022年11月	18	0
91回	魔女と過ごした七日間	東野圭吾	2023年3月	18	173
90回	光のどこにいてね	一穂ミチ	2022年11月	17	80
89回	くもをさがす	西加奈子	2023年4月	18	186
89回	コメンテーター	奥田秀朗	2023年5月	17	74
89回	方舟	夕木春央	2022年9月	18	52

**本格「田園」** 「ハヤブサミステリー 消防団」は自然豊かな町を舞台にした「田園ミステリー」。発売は昨年9月ですが、今年7～9月にテレビドラマが放送され、原作を読みたいという方がふえたようです。



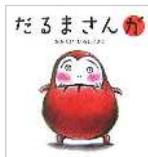
現在は予約状況も落ち着き、すぐに貸出可能。

**難病と生きる 主人公を描く** 「ハンチバック」は今年の第128回文学界新人賞、第169回芥川賞を受賞。先天性ミオパチーという難病と生きる作家が、自身を投影した主人公を描いています。また、当事者として「読書バリアフリー」の環境整備を訴えておられ、考えさせられます。まだまだ予約が多く、手に取れるようになるのはもう少し先でしょうか。



また、子どもの絵本のランキングはこちら。長年愛されている本ばかりですね。

区立図書館では、来館が難しい場合は自宅へ本を届け、回収も行います（貸出期間1か月）。問合せは（南千住図書館 ☎03-3807-9221）まで。



137回	だるまさんが	かがくいひろし
120回	がたんごとんがたんごとん	安西水丸
116回	くつついた	三浦太郎
104回	だるまさんと	かがくいひろし
99回	くだもの	平山和子
97回	だるまさんの	かがくいひろし
95回	ぼんちんぼん	柿木原政広
93回	じゃあじゃあびりびり	まつのりこ
91回	11びきのねこ	馬場のぼる
90回	はらぺこあおむし	エリック=カール

## 南千住図書館の休館日

※毎週月は定休

- ・12月は11～15日の5日間
- ・年末年始は12月29～1月4日まで（ゆいの森は12月29～1月3日まで）



## 〈法律・生活相談〉

### 12月の定例法律相談日は 14日(木)です

ご要望やご相談などは随時ご連絡ください。事務所での定例法律相談は、毎月第2木曜18時から。平日の午後15時に法律事務所（北千住）でも可能です。お名前、電話番号等を下記の留守番電話に録音して下さい。

相馬 ゆうこ事務所 南千住5-1-6-2階 ☎3807-4192

# 鳥インフルエンザ…荒川区も「野鳥監視重点区域」に

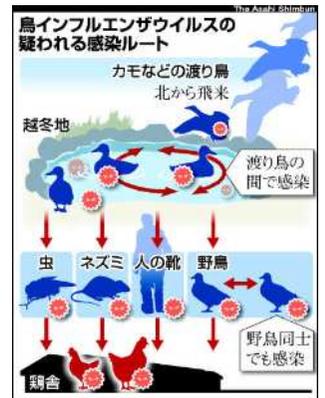
11月28日(火)に千代田区で回収されたノスリ1羽について、都の簡易検査では「陰性」でしたが、その後、国立環境研究所が遺伝子検査を実施したところ、30日(木)にA型鳥インフルエンザ「陽性」を確認。さらに12月1日(金)、感染力のつよい「高病原鳥インフルエンザウイルス(H5亜型)」が検出されました。都内で野鳥から高病原性のウイルスが検出されるのは3例目で、これまでのところ、ほかの野鳥などへの感染は確認されていないそうです。



ノスリ(タカ科)

これをうけ、環境省は発生地の周辺10km圏内を「野鳥監視重点区域」に指定。荒川区も該当地域となり、異常の疑いがある死亡野鳥について都へ報告がもたれます。

**ふえる 鳥インフル** 鳥インフルエンザの流行は10月～翌1月頃まで、昨シーズンは過去最多の1771万羽の鶏が殺処分になりました。卵の価格が高騰し、メニューを中止する飲食店もありました。今シーズンはこれまでに18万羽が処分になっています。鳥インフルエンザがふえている理由として、専門家は「渡り鳥がウイルスを持ったまま日本へ来るようになった」とのこと。通常は人に感染しないと考えられており、国は殺処分について「鶏肉や卵の安定供給のため」としています。



(朝日新聞より)

## もし死亡した鳥を見つけたら…

- ・野鳥が死亡する理由は環境の変化や餌不足など様々で、鳥インフルエンザのみを疑う必要はありませんが、素手で触らないようご注意ください。
- ・タカ類などの猛禽類、ハクチョウやガンの仲間、カモ類、カイツブリ類、ユリカメ等の水辺の鳥が死亡している場合や、同じ場所で複数の野鳥が死亡している場合は、右記までご連絡ください。

荒川区 環境清掃部 環境課 ☎03-3802-4694

東京都 環境局 自然環境部 計画課 ☎03-5388-3506

## 「かわいいクッキー、どこで買える？」 先日、「かわいいクッキー

が区内で売っているみたいだ

けどどこで買える？」とお話が。来年の干支「辰」のタツノオトシゴをモチーフにしたクッキーです。たしかにかわいい。



実は…保存料なしのクッキーを手作りしている、区の障がい者就労支援施設「荒川ひまわり第2」(東尾久)でつくっています。単品では販売しておらず、季節限定のスイーツボックスにのみ入っているとのこと！ボックスは90セット限定、受付は15日(金)までです。ぜひどうぞ。



タツノオトシゴクッキー

2024年の干支は辰。辰の代わりにタツノオトシゴをモチーフにしたクッキーです。

申込み：荒川ひまわり第2 ☎03-3895-6149

# 「ひとり親家庭サポート事業」もっと使いやすく

区議会11月会議での日本共産党区議団の本会議質問から、一部をご紹介します。

**【問】「ひとり親家庭サポート事業」を、使いやすい制度に改善して**



「ひとり親家庭サポート事業」は、自宅にヘルパーやベビーシッターを派遣して育児や家事の援助を行うもので、所得によって自己負担なしで利用が可能です。ただし、○利用は月5回まで○育児援助は子どもが生後6か月～小3まで○家事援助は小1～小6までの制限があります。また、ひとり親になって1年以内は条件を問いませんが、その後は就職活動や冠婚葬祭などに限定されています。

区内のひとり親は約2,000世帯と見込まれますが、2022年度の実績では登録18世帯、実際に利用したのは10世帯のみ。昨年度区が行ったひとり親の調査では、「そもそもサポート事業を知らない」「家事援助は障がい児なら中3まで広げてほしい」などの意見も寄せられています。

**【答弁】**事業の積極的な周知と利用促進が課題と認識している。利用手続きの簡素化、要件の緩和について検討をすすめている。



せっかくの制度なので、子どもの年齢ではなく世帯の状況や希望に応じて利用できるよう、実態調査も活かしてサービスを拡充してほしい。引き続き区の支援をもとめます。

## 7丁目に障がい児通所施設がオープン予定



放課後等デイサービス ウィズ・ユー 南千住【2024年01月オープン予定】の児童発達支援管理責任者求人(正職員)

放課後等デイサービス（放デイ）と児童発達支援（児発）を併設した「ウィズユー南千住」が、来年1月開設予定です。場所は南千住7丁目ハイツD棟121号室で、定員10人、事業者は(有)安藤商事。

※障がい児のための施設で  
・児童発達支援…未就学児向け  
・放課後等デイサービス…就学児の放課後の居場所 です

発達障害など支援が必要な子どもがふえ、区内でも障がい児の通所施設が足りず入れないという声も。南千住には放デイ2か所、児発1か所のみです。区のたんぽぽセンター（児童発達支援）も定員拡大を予定していますが、必要な子どもがより良い支援を受けられるよう、環境整備が必要です。



**ご意見・ご質問頂きました** ○電話で問合せが…「非課税世帯への8万円の給付金はいつになるの?」ということです。先週のレポートでも給付金の予算について議会審議はお知らせしましたが、区がこれから給付事務を行う事業者の決定などを行うことになり、早くとも来年1月以降になりそうです。具体的な日程が分かり次第お知らせしたいと思います。○東京都の「18歳までの6万円支給」の申請がまだの方…018サポートポータルサイト:<https://018support.metro.tokyo.lg.jp/>から申請してください。郵送申請など0570-082-018コールセンターに問合せを。

